

今年も、若穂の元気なまちづくりを応援します。

「ほんわか・ほ支援金」の受付は6月中・・・1事業につき5万円を上限に予算総額は30万円

団体やグループ、区による **地域振興** **防災・安全** **健康・福祉** **教育・子育て** **文化・伝統** **スポーツ** **環境美化・保全** **情報発信** などの面で地域に貢献する意欲的な事業が対象。政治的、宗教的なものや飲食費・人件費などは対象外です。

保科誌刊行会	40,000円
保科るねっさんず倶楽部	50,000
お話ハートの会	20,000
若穂文化振興会	50,000
浦町神楽保存会	30,000
町川田区	40,000

(22年度交付実績)

どうすれば交付を受けられるの？

- ①「交付申請書兼事業計画書」【様式1】で自治協事務局へ申請します。(用紙は事務局)
- ②交付審査委員会で金額査定を含めて審査し、予算の範囲内で交付事業を決定します。
- ③原則として支援金は交付決定により二分の一、完了した時に残りの二分の一(清算金)を交付します。

6月19日に「わかほを考えるフォーラム」を開催します。

今年度は『屋代線問題と若穂のまちづくりを考える』をテーマとし、小布施のまちづくりも参考にしながら若穂の明日を論議します。誰でも参加OK。大勢の皆さんご参加ください。



(屋代線で市長に署名を提出)

- とき 6月19日(日) 午後1:30～
- ところ 若穂支所2階
- 担当 区長会

わかほを考える？ ほ通信について？

～ 屋代線問題と若穂のまちづくりを考える ～

〈基調講演〉 『栗と北斎と花の町—小布施のまちづくり』 (仮題)

講師 (株)ア・ラ・小布施企画部長、小布施町議 関悦子さん

関さんは、第3セクター「ア・ラ・小布施」の中心を担う企画部長。国際音楽祭などの催事、プチホテルや喫茶店の経営、ガイドセンターの運営、町なみ修景の管理、Web新聞「小布施風」の刊行、さらには「丸ナス」の栽培に到るまで、幅広い事業をおこない、小布施まちづくりの牽引役を果たしています。

- 〈レポート〉
- ① 三セクいすみ鉄道の視察報告 (調査メンバー)
 - ② 事務局からの提起 (活性化協議会の今後や若穂のまちづくり)
 - ③ 岡田荘史長野市議からの報告 (市議会の現状や若穂の活性化策) 他
- 〈意見交換〉 分散討議と全体討議